

南相馬市 ~ 工事等設計書 ~

起工月	平成 30 年 4 月		工事概要	林道復旧工事 L=28.0m	
契約番号	4301000018			土工 一式	
路線名	山下線			法面工 408m ²	
工事等名	林道施設災害復旧(山下線)工事				
工事等場所	南相馬市 鹿島区山下字安倉 地内				
総工事費	当初請負		仕様概要	1.設計図書及び標準仕様書に準ずること 2.詳細は監督員の指示によること	
	当初設計				
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

最低制限価格の設定(算定)について

林道施設災害復旧(山下線)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。
該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴い最低限必要な費用 = P (最低制限価格)

算定された金額が入札書比較価格(税抜予定価格)の2/3を下回る時は2/3、8.5/10を上回る時は8.5/10とし、最低制限価格算定の際の端数処理については、2/3で設定する場合は1万円未満を切り上げ、その他は1万円未満を切り捨てます。

一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

$$P = \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{現場管理費} \times 1/5$$

建築工事(一般・解体工事共通)

$$P = \text{直接工事費} \times 8.5/10 + \text{共通仮設費} \times 6/10 + \text{現場管理費} \times 3/10 + \text{一般管理費} \times 1/10$$

建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

舗装工事

$$P = \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{現場管理費} \times 1/5$$

電気・通信設備工事(製作・据付共通)

$$P = \text{直接製作費} \times 7/10 + \text{一般管理費(機器費)} \times 1/10 + \text{直接経費} \times 9/10 + \text{共通仮設費率分} \times 6/10 + \text{現場管理費} \times 3/10 + \text{技術者間接費} \times 3/10 + \text{一般管理費(据付)} \times 1/10$$

直接経費=直接工事費+共通仮設費の積み上げ分、直接経費に機器費を含まない

水道工事

$$P = \text{直接工事費} \times 8.5/10 + \text{共通仮設費} \times 6/10 + \text{現場管理費} \times 3/10 + \text{一般管理費} \times 1/10$$

暖冷房衛生設備工事

$$P = \text{直接工事費} \times 6/10 + \text{共通仮設費} \times 6/10 + \text{現場管理費} \times 3/10 + \text{一般管理費} \times 1/10$$

機械設備工事(製作・据付共通)

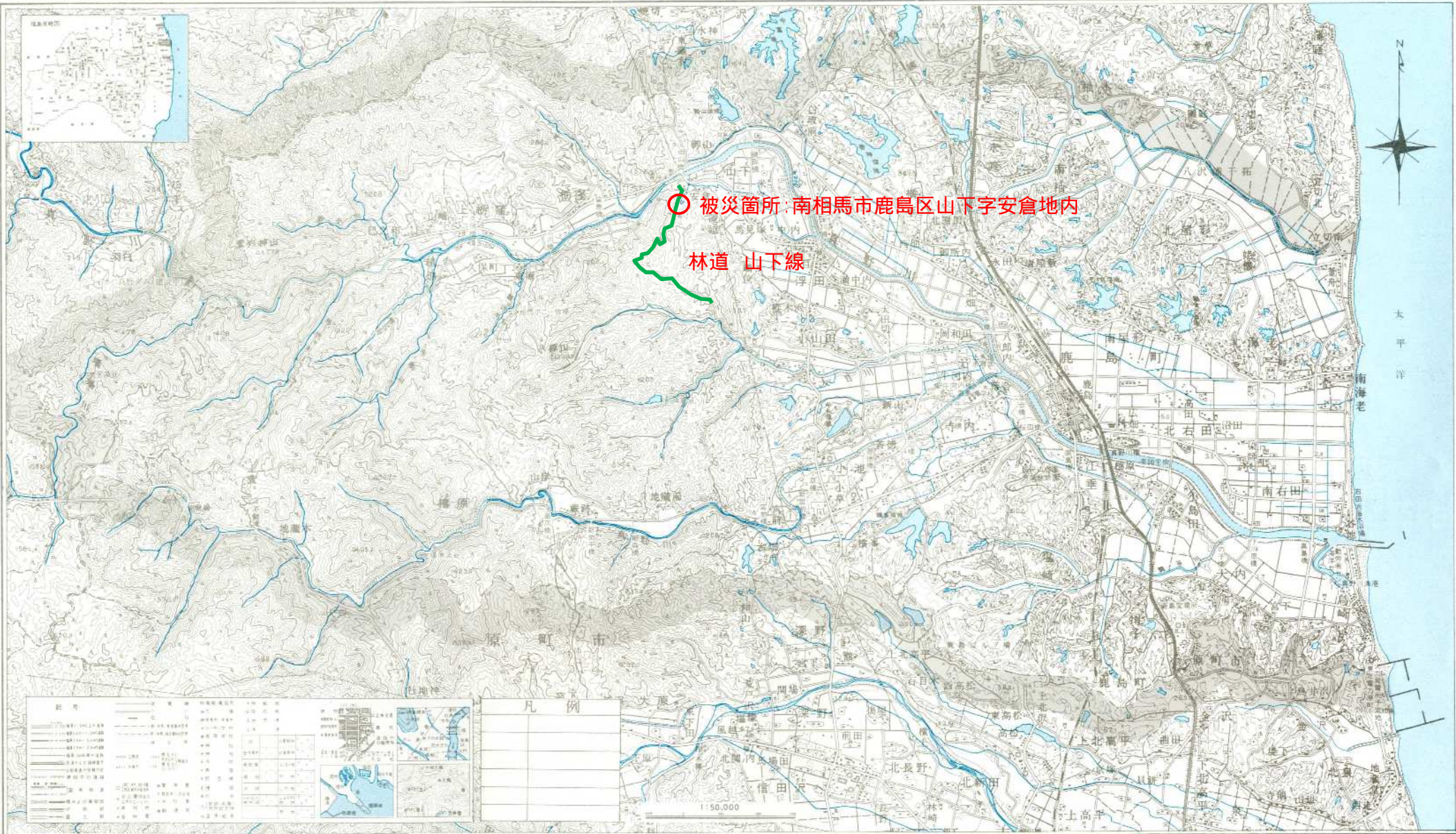
$$P = (\text{直接製作費} + \text{設計技術費}) \times 7/10 + \text{間接労務費} \times 6/10 + (\text{直接経費} + \text{据付間接費}) \times 9/10 + \text{共通仮設費率分} \times 6/10 + \text{現場管理費} \times 3/10 + \text{一般管理費} \times 1/10$$

直接経費=直接工事費+共通仮設費の積み上げ分、直接経費に製作工事価格費を含まない

南相馬市鹿島区位置図

S = 1 : 50,000

平成六年二月印刷



新日本航測株式会社調製

平成30年度

林道施設災害復旧事業

山下線

林道施設災害復旧（山下線）工事

金抜き設計書

（当初）

事業名	林道施設災害復旧事業 山下線
工事名	林道施設災害復旧(山下線)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	【法面工(植生基材吹付工)】		m ²		1.000	歩A 当たり算出
	【法面工(植生基材吹付工)】 厚3cm,500m ² 未満,45m以下(施工基面上面),含む			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)規格・仕様:厚3cm 2)施工規模:500m ² 未満 3)時間的制約: 4)法面垂直高:45m以下(施工基面上面) 5)作業区分:吹付工 6)ス・アソカ・ピンの設置:含む			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0	
	植生基材吹付工 厚3cm	1.100	m ²			
	合計					算出数量 1.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 2号 ***					
	機械切土法面整形		m ²		100.000	歩A 当たり算出
	機械切土法面整形 礫質土,バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)土質区分:礫質土 2)規格区分:バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 3)山林砂防工(普通作業員):普通作業員			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0	
	土木一般世話役		人			
	普通作業員		人			
	バックホウ[加圧型・排対型(2次)] 標準バック容量 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 運転手(特殊)		時間			
	軽油 JIS1 2号 小型D-リ-	67.000	L			
	合計					算出数量 100.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 3号 ***					
	ダンプトラック運搬		m ³		1.000 時間	歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬 10t車,粘性土・砂・砂質土・礫質土,2km,バックホウ 山積0.8m ³			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)車種区分:10t車 2)土質区分:粘性土・砂・砂質土・礫質土 3)積載土量(q):5.300m ³ 4)片道運搬距離(L):2.000km 5)積込機械区分:バックホウ 山積0.8m ³ 6)運搬状況区分:上記以外の運搬 7)路面条件区分:路面条件 普通			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0	
	運転手(一般)		人			
	軽油 JIS1 2号 小型D-リ-	11.000	L			
	ダンプトラック[オールド・タイプ]		時間			
	10t積級 燃料消費費(DT国産・普通・D) 積載重量 10.0t積	1.000	時間			
	合計					算出数量 11.400 m ³
	単価		m ³			
	*** S単 - 4号 ***					
	片切掘削(人力併用機械掘削)(土砂)		m ³		10.000	歩A 当たり算出
	片切掘削(人力併用機械掘削)(土砂) 砂,粘性土,砂質土,礫質土			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)土質区分:砂,粘性土,砂質土,礫質土 2)山林砂防工(普通作業員):普通作業員			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0	
	普通作業員		人			
	バックホウ[加圧型・排対型(2次)] 標準バック容量 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 運転手(特殊)		時間			
	軽油 JIS1 2号 小型D-リ-	4.300	L			
	合計					算出数量 10.000 m ³
	単価		m ³			
	*** S単 - 5号 ***					
	バックホウ掘削・積込(土砂)【被災地補正】		m ³		1.000 時間	歩A 当たり算出
	バックホウ掘削・積込(土砂)【被災地補正】 排対型,山0.80m ³ (平0.60m ³),180°,運搬(土砂)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	
	1)作業区分:運搬(土砂) 2)排ガス区分:排対型 3)規格区分:山0.80m ³ (平0.60m ³) 4)旋回角度:180° 5)平均作業効率(E):0.800 6)破碎岩の割合(中硬岩以上)(%):0.000			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0	

数 量 総 括 表

(林 道 山 下 線)

数量計算表

名 称	材 料	計 算 式	数 量	単 位	摘 要
土 工					
	機 械 掘 削	(礫質土、ルーズ)	163	m ³	162.6
	機 械 掘 削	(礫質土、地山)	18	m ³	17.5
	片 切 掘 削 (人力併用)	(礫質土、ルーズ)	6	m ³	5.8
	片 切 掘 削 (人力併用)	(礫質土、地山)	51	m ³	51.3
	捨 土 (機械掘削)	(礫質土) $162.6 \div 1.20 + 17.5 = 153.0$	153	m ³	153.0
	捨 土 (人力掘削)	(礫質土) $5.8 \div 1.20 + 51.3 = 56.1$	56	m ³	56.1
	捨 土 整 正	(礫質土) $153.0 + 56.1 = 209.1$	209	m ³	209.1
	機械切取法面仕上		159	m ²	159.0

路線名
林道災害復旧工事(山下線) * * * *

土 工 集 計 表

* * * *

(路線延長 L = 28.000 m)

項目 No.	項目名	単位	合計	備考
C 1	機械掘削(ルース)	m ³	162.6	
C 2	機械掘削(地山)	m ³	17.5	
C 3	片切掘削(人力併用)(ルース)	m ³	5.8	
C 4	片切掘削(人力併用)(地山)	m ³	51.3	
L 1	機械切取法面仕上げ	m ²	159.0	

.....

.....

.....

特記仕様書

第1章 工事概要

1 - 1 工事概要

工 事 名：林道施設災害復旧（山下線）工事
工 事 場 所：南相馬市鹿島区山下字安倉地内
工 期：平成 30 年 月 日～平成 30 年 8 月 31 日
工 事 内 容：土工：一式 法面工：408.0 m²

第2章 適用

2 - 1 適用

南相馬市（以下「甲」という。）が林道施設災害復旧（山下線）工事（以下「工事」という。）の仕様については、福島県土木部発行の共通仕様書、福島県農林水産部発行の共通仕様書（以下「共通仕様書」）によるものとするが、工事遂行にあたり特に留意すべき事項について、本特記仕様書（以下「特記仕様書」という。）に示すものとする。なお、仕様書の適用にあたっては、「共通仕様書」に対して、「特記仕様書」を優先するものとする。

第3章 工事関係

3 - 1 事前作業

施工計画書を基に監督員と綿密な打合わせを行い、十分把握した上で現場着工すること
現場及び設計図書等を精査し、疑義がある場合は監督員と協議すること
地元住民、地権者等関係者に工事内容を説明し協力を求めること

3 - 2 工程関係

工期は、雨天・休日等を見込み、契約日の翌日から、平成 30 年 8 月 31 日までとする。
なお、休日等には日曜日・祝日、年末休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。
本工事の施工にあたり、施工内容、施工時期、作業時間、交通規制について下記の制限を遵守すること。
ただし、これにより難しい場合については、監督員と協議すること。
（記）作業時間帯：AM8:30～PM5:00
施工計画の工程に差異が生じた場合は、工程表を見直し監督員と協議すること。

3 - 3 工事内容

土工
・崩落土には十分注意し、施工すること。
・ダンプトラック運搬の距離については、残土処理場が明確になった時点で協議する。

3 - 4 公害関係

排対型建設機械の使用
・排対型建設機械を使用し、施工現場において建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出すること
・排対型建設機械を使用できない場合は、監督員と協議の上、指定外の建設機械を使用することができる。
【対象機種】バックホウ 0.6m³, プルト-ザ 21t
粉塵・騒音・振動対策
・施工現場及び周辺道路等は、工事用車両等による土砂等の飛散物による粉塵が発生しないよう、清掃しなければならない。
・工事施工に伴い発生する騒音・振動・地盤沈下に起因する事業損失が懸念される場合は、発注者側と協議し、未然に防止する対策を講じなければならない。
・低騒音型建設機械を使用すること
・低騒音型建設機械の使用状況写真を監督職員に提出すること

- ・現場管理に留意し、不必要な騒音、振動を発生させないこと
- ・建設機械等の整備不良による騒音、振動を発生させないように十分に整備点検を行うこと
- ・作業待ち時間には建設機械等のエンジンを切ること
- ・やむを得ず騒音・振動が発生する場合は、近隣住民に説明し了解を得ること

現場、資材置き場における留意事項

- ・現場は常に整理整頓し、作業中はもちろん、作業終了時には資器材等の整理及び仮囲い等の防護措置を徹底すること
- ・資材置き場を決定するときは、土地所有者の承諾を得た上、近隣住民にも説明し理解を得ること
- ・資材置き場が決定したら、その位置等を監督職員に報告すること
- ・資材置き場においては、資器材の整理整頓を徹底し、工事関係者以外の立ち入りを禁止するバリケード等を設置し、資材置き場内での第三者の事故等が無いよう徹底すること
- ・現場周辺の環境対策のため、定期的に清掃を行うなど環境の美化に努めること

3 - 5 安全対策関係

安全訓練の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て、下記項目から実施内容を選択し、安全訓練等を実施するものとする。

- ・安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ・土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ・本工事内容の周知徹底
- ・本工事における災害対策訓練
- ・本工事現場で予想される事故対策
- ・その他、安全、訓練等として必要な事項

安全計画に関する施工計画の作成

- ・施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し監督職員に提出するものとする。

安全訓練等の実施状況報告

- ・安全・訓練等の実施状況を工事月報等に記録し、報告するものとする。

安全管理

- ・保安施設等配置図に基づき、現場の安全管理を徹底し、事故の無いよう施工すること
- ・夜間時における保安施設は、特に堅固かつ安全なものとする
- ・毎日の作業前、後に保安施設の点検を行うこと
- ・常に現場周辺を点検し道路の損傷等による危険箇所がある場合、適切な補修を行うこと

3 - 6 確認検査

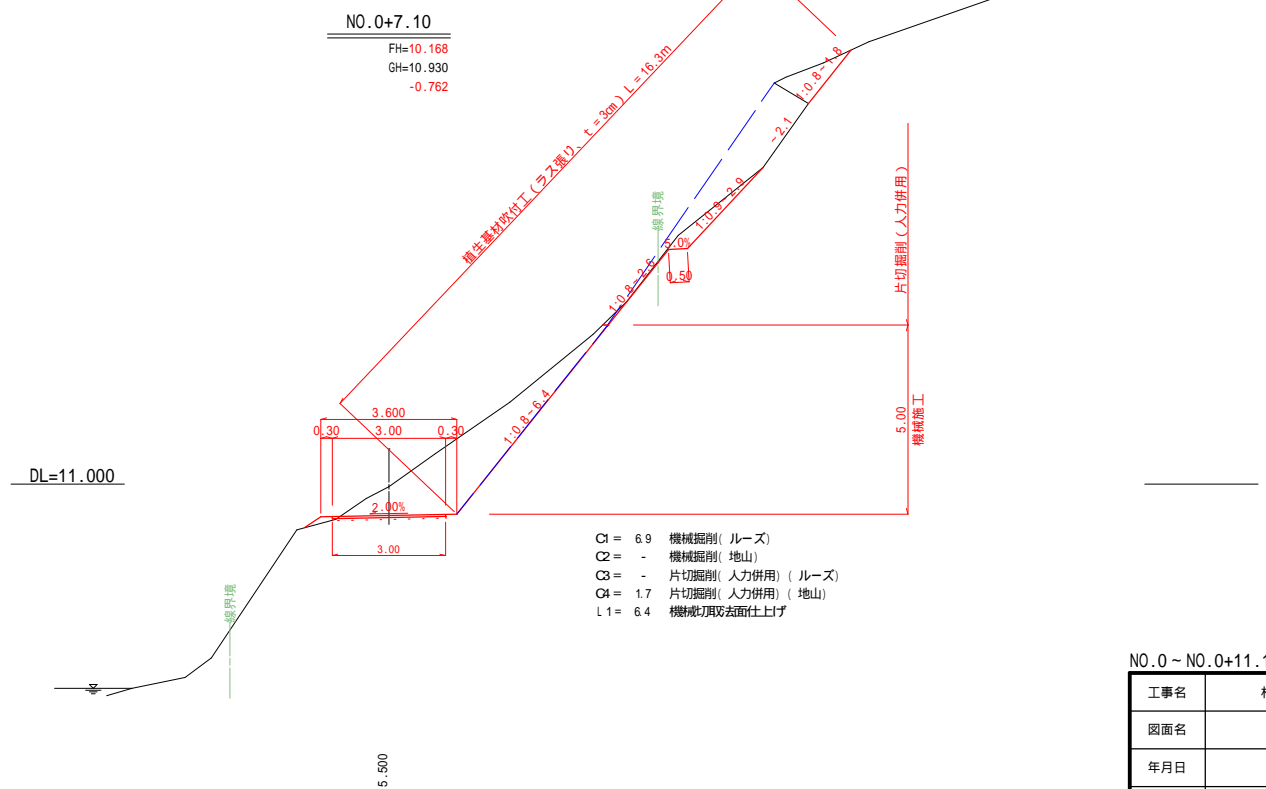
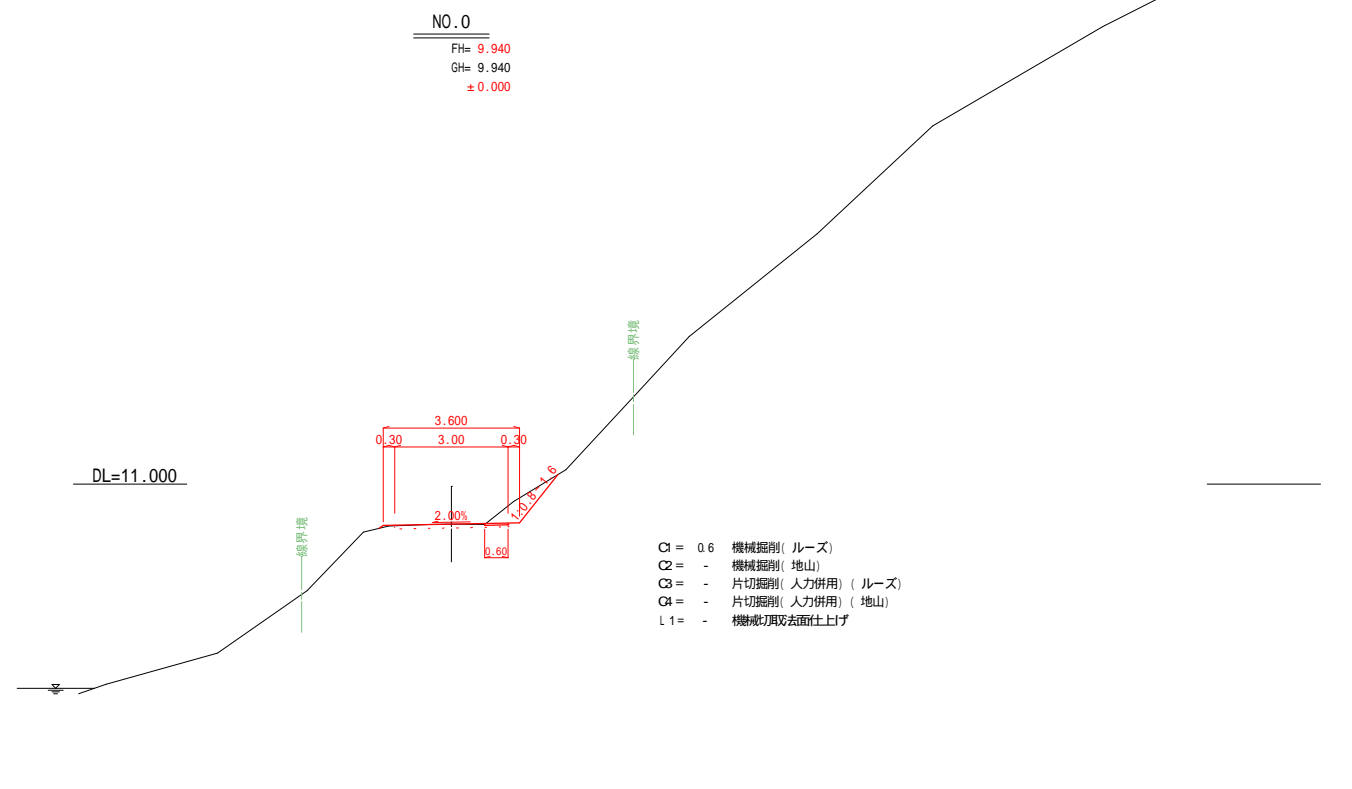
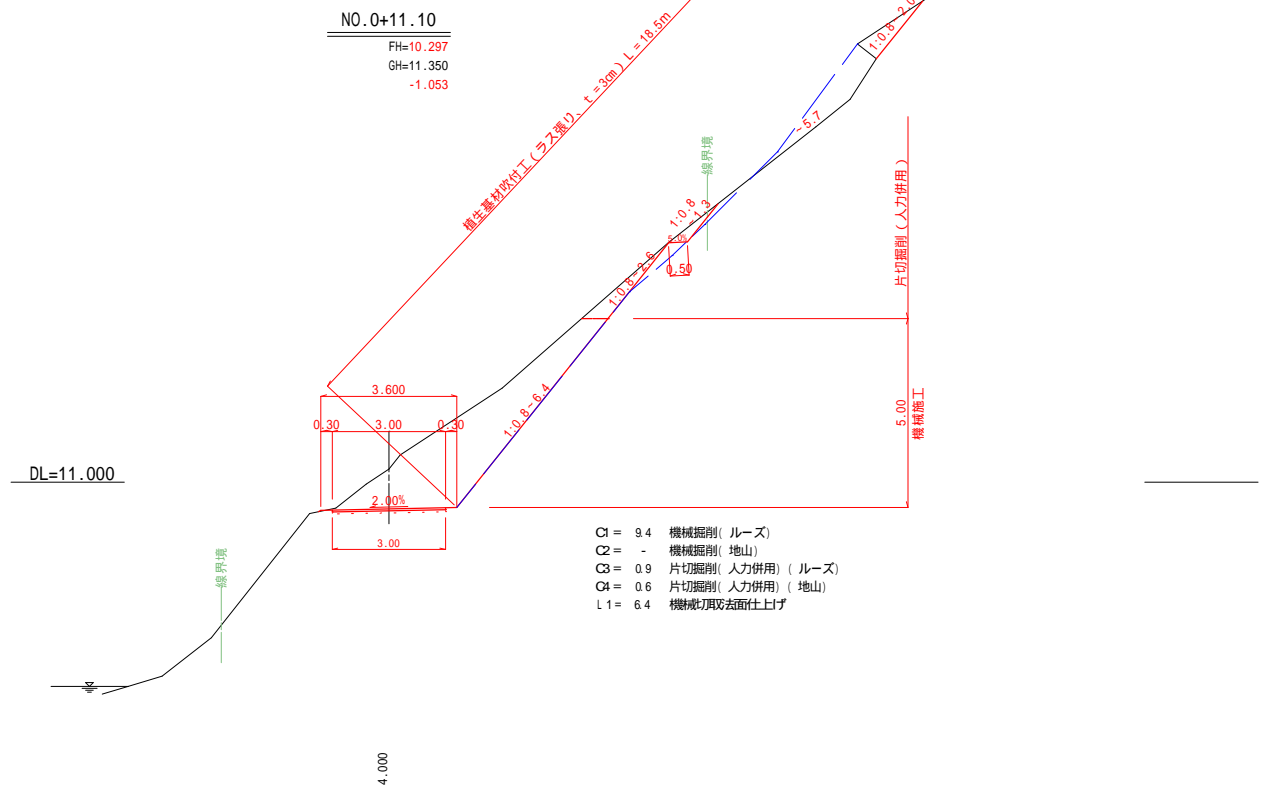
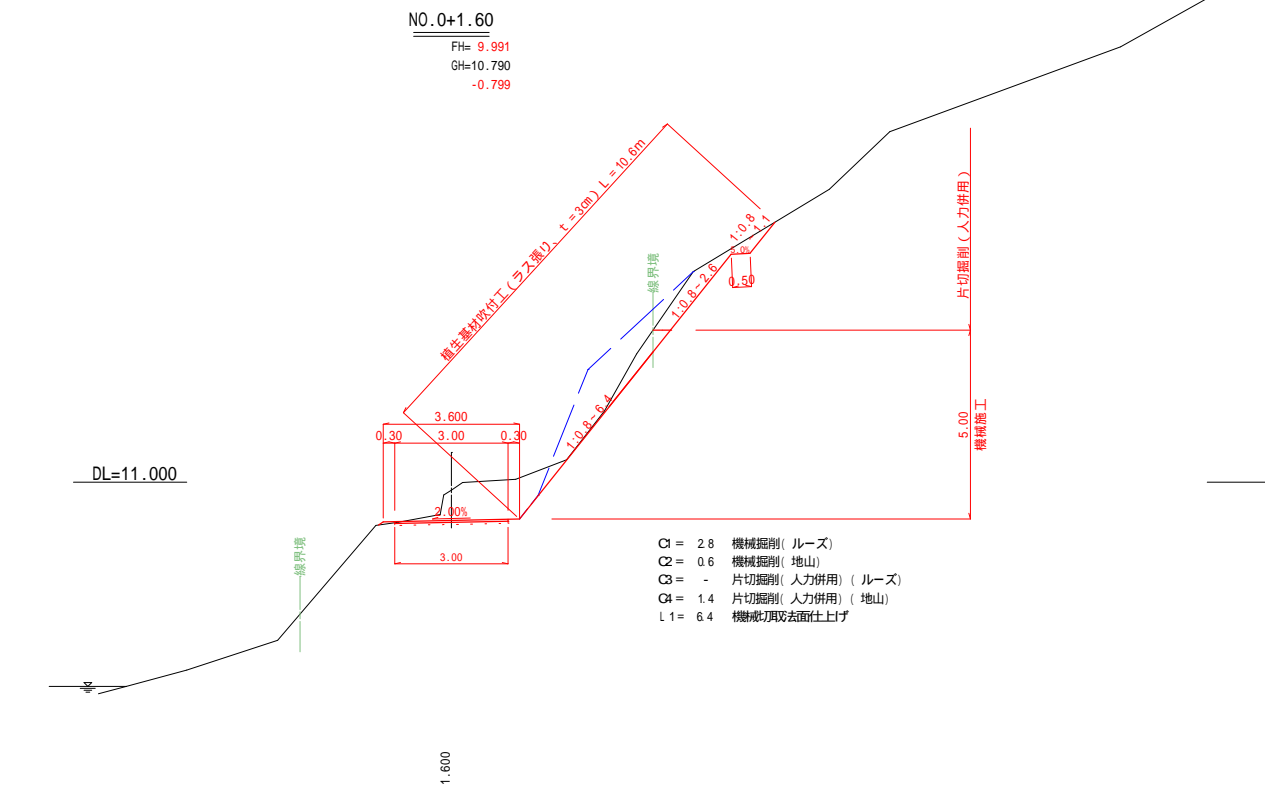
丁張検査 資材検収

第4章 その他

4 - 1 提出書類及び竣工書類

福島県土木共通仕様書に基づき作成し、提出期間内に速やかに提出すること

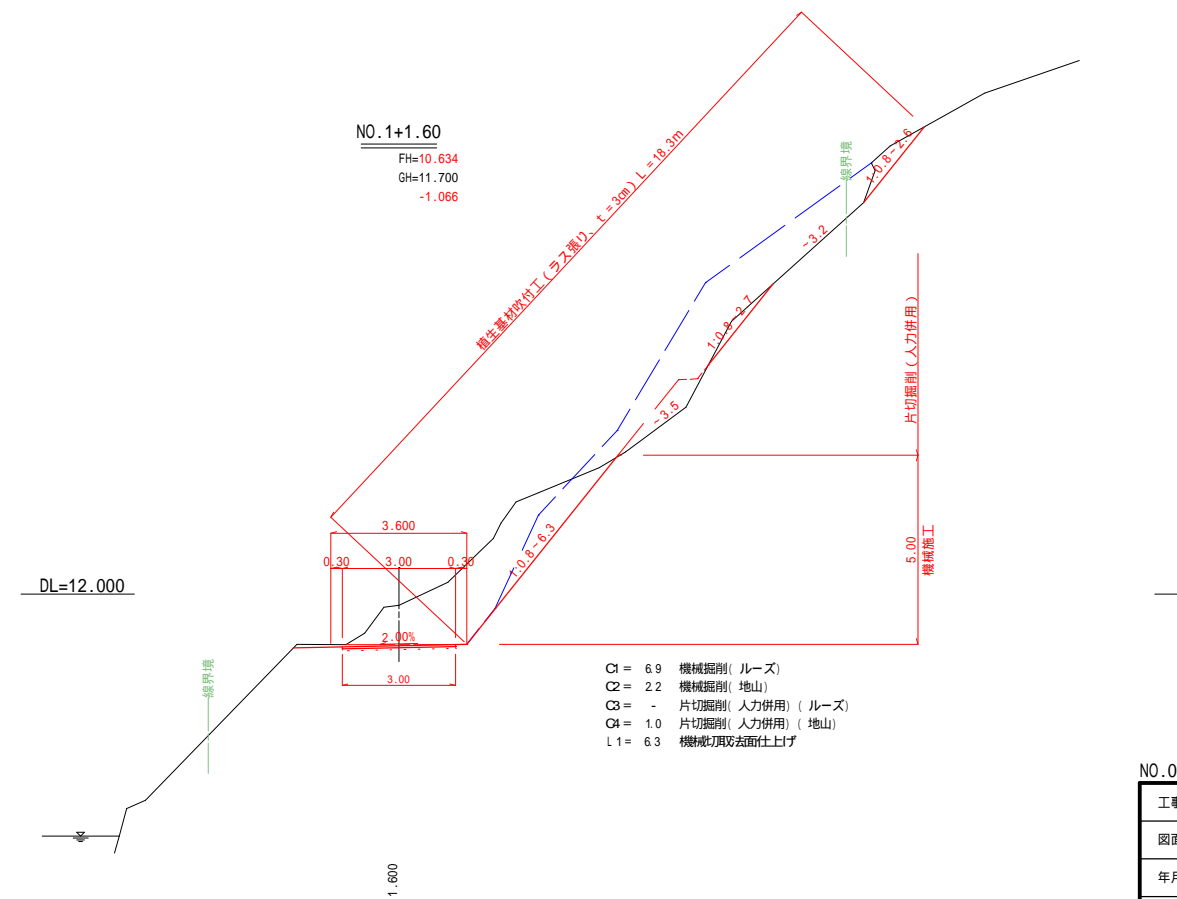
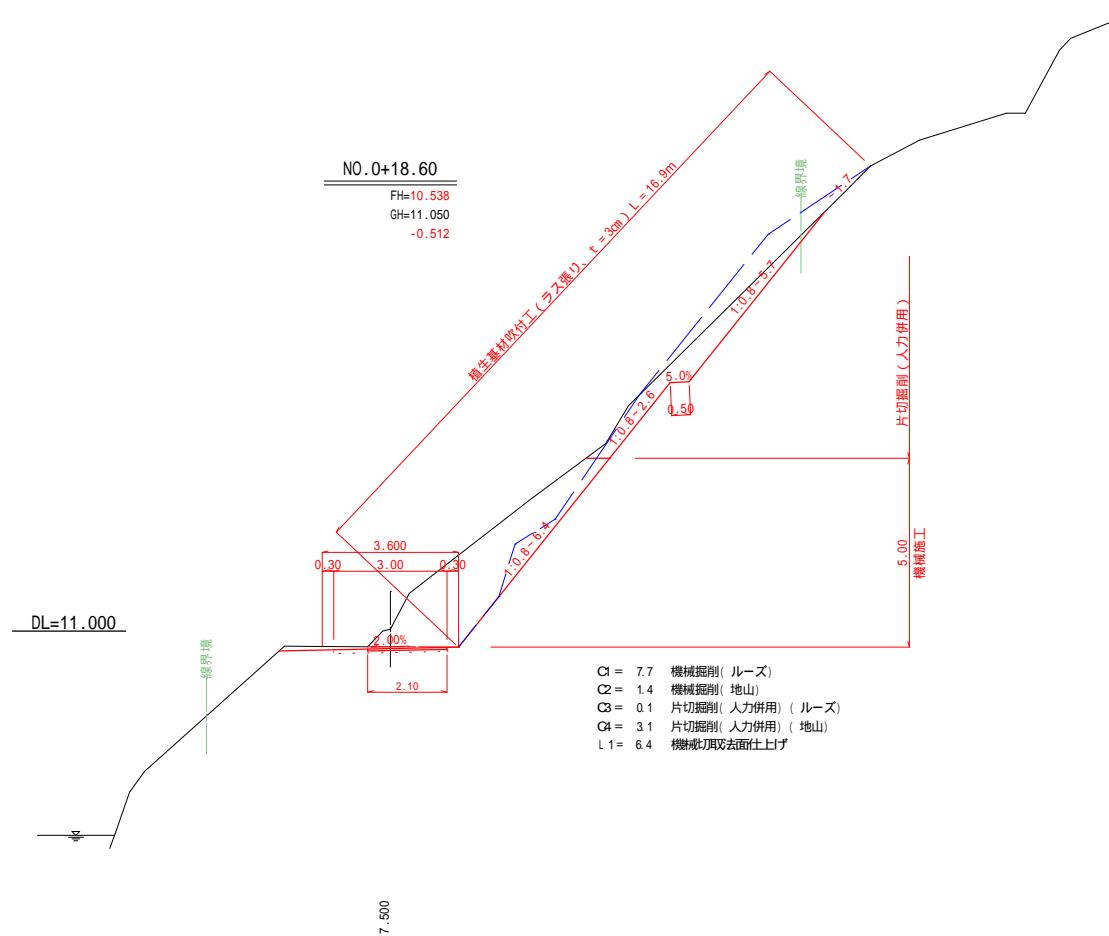
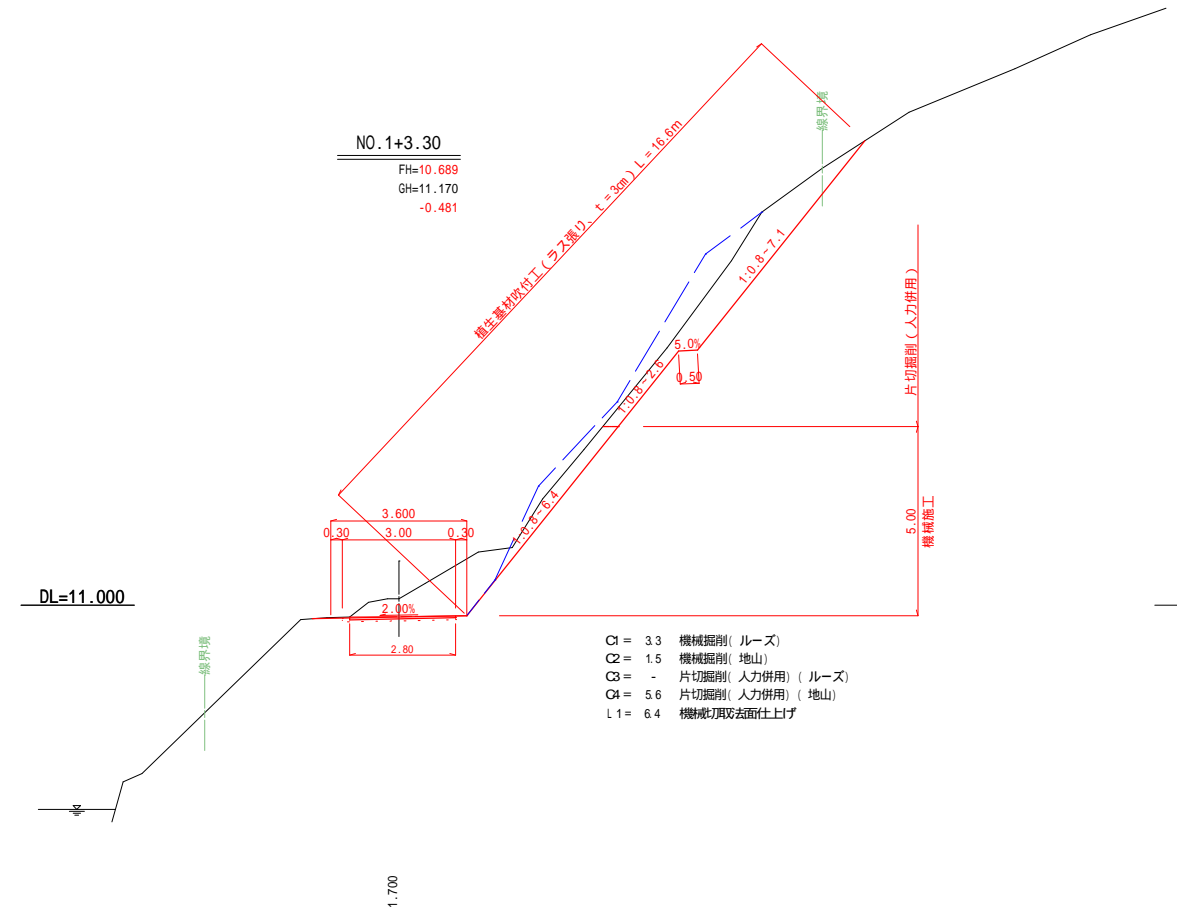
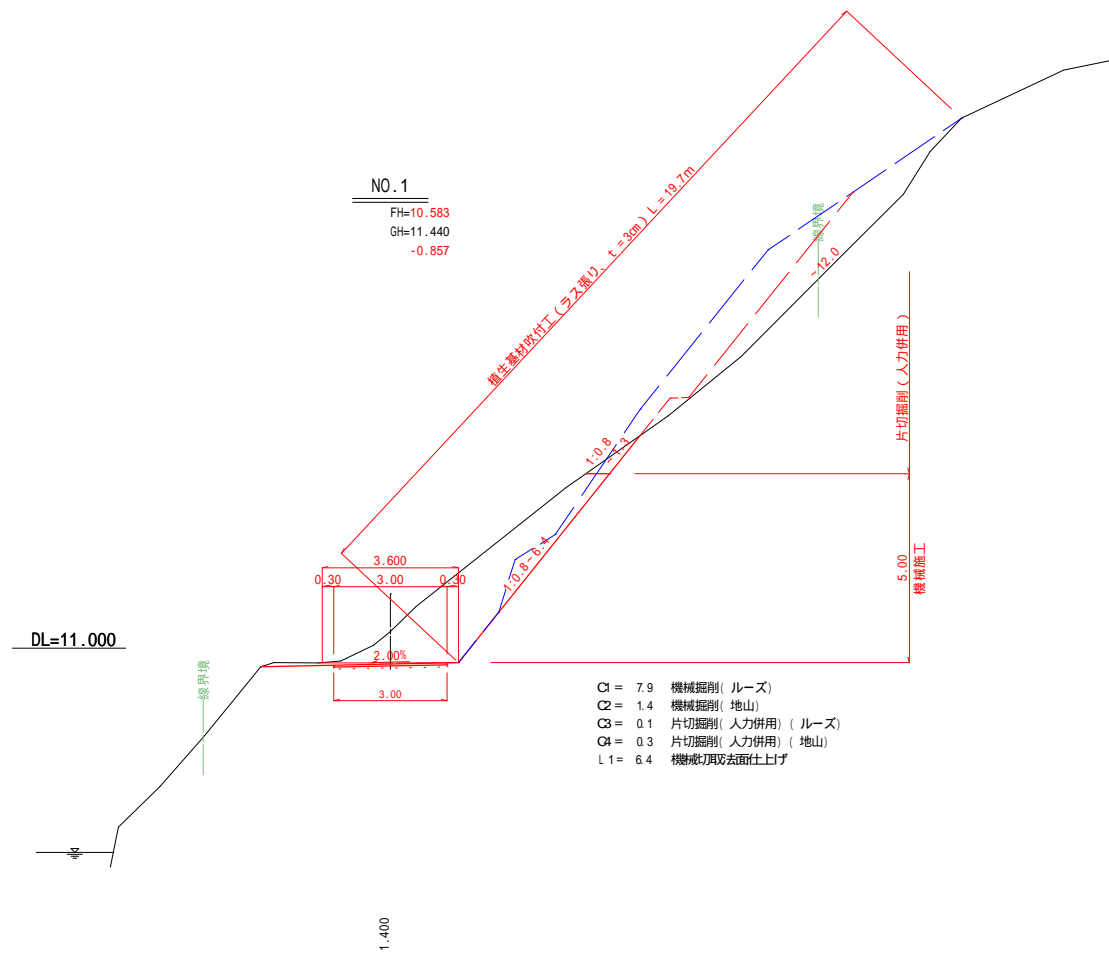
横断図 S=1:100



NO.0 ~ NO.0+11.10

工事名	林道 山下線 災害復旧工事		
図面名	横断図 1/3		
年月日	平成29年11月 日		
尺度	図示	図面番号	2/4
会社名	株式会社 日建		
事務所名	南相馬市		

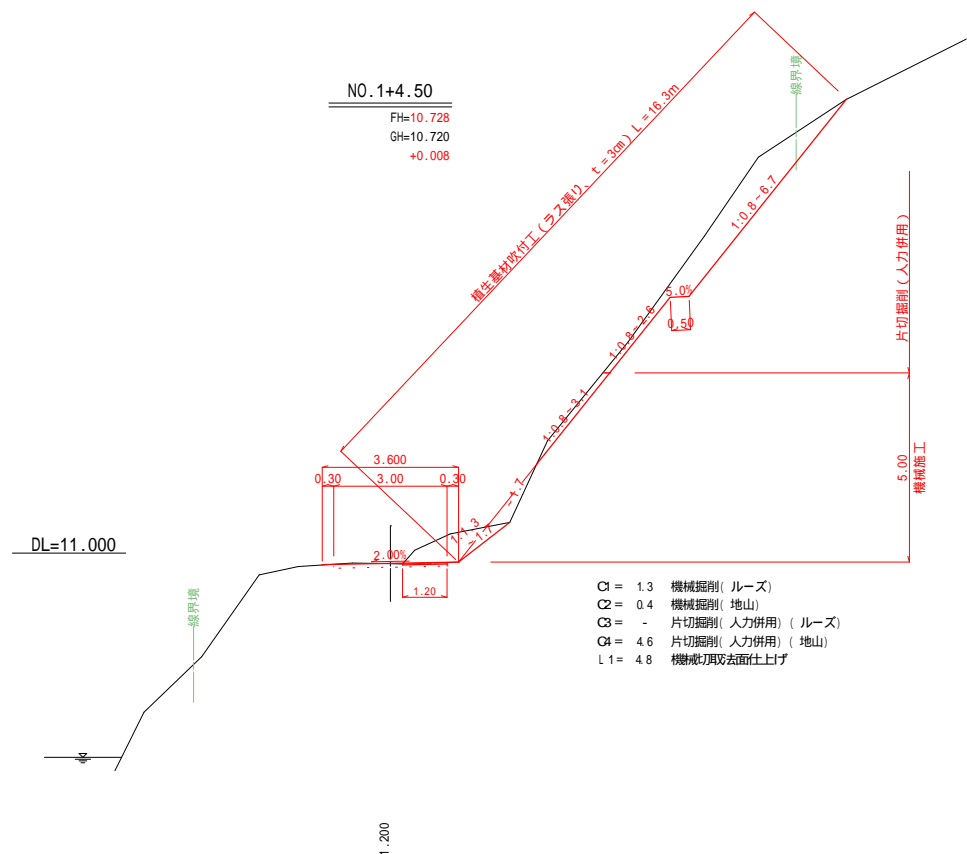
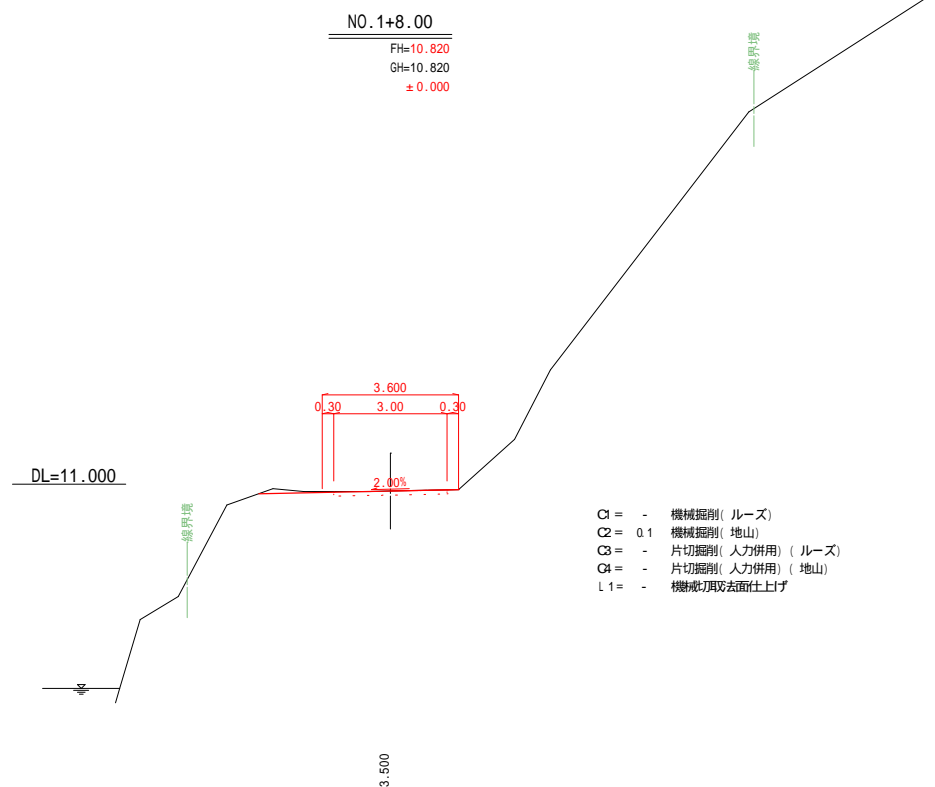
横断図 S=1:100



NO.0+18.60 ~ NO.1+3.30

工事名	林道 山下線 災害復旧工事		
図面名	横断図 2/3		
年月日	平成29年11月 日		
尺度	図示	図面番号	3/4
会社名	株式会社 日建		
事務所名	南相馬市		

横断図 S=1:100



NO. 1+4.50 ~ NO. 1+7.40

工事名	林道 山下線 災害復旧工事		
図面名	横断図 3/3		
年月日	平成29年11月 日		
尺度	図示	図面番号	4/4
会社名	株式会社 日建		
事務所名	南相馬市		